

1. 原因は?

流行型は主としてコックサッキーウイルスA群、散発型はコックサッキーB群、エコーウイルスによる。

2. 潜伏期は?

2~4日

3. 症状は?

特徴的な前駆症状はなく、突然の発熱で発症する。食欲不振がみられることがある。発熱は認められないこともあるが、一般的には高熱を呈し、特に幼少児ほど熱が高い傾向にあり、41℃まで上がることがある。幼児以降では頭痛、背部痛などを訴える。

5歳以下の幼児では25%の者が腹痛、嘔吐など消化器症状を訴える。コックサッキーA4型の流行時には初期症状として100%によだれ、50%に咽頭痛、45%に感冒症状、18%に頭痛、36%に嘔吐、下痢がみられたとの報告がある。

口腔内の所見は発熱直後に出現するので初診時から観察される。口蓋弓前部、軟口蓋から口蓋垂にかけて散在することが多く、通常は1~2mm程度の発赤に囲まれた小水疱が現れ、1日程で増大し、2~5mmの紅斑状丘疹となり、中央は水泡化する。この水泡は短時間で潰瘍化する。その数は通常5個程度であるが、1~2個のことや10個を超えることがある。

発熱は1~4日で下降し、口腔内所見も4~6日で改善する。全経過は1週間程度である。

4. 合併症は?

エンテロウイルスの性格として、心筋炎、髄膜炎等を合併する可能性がある。